

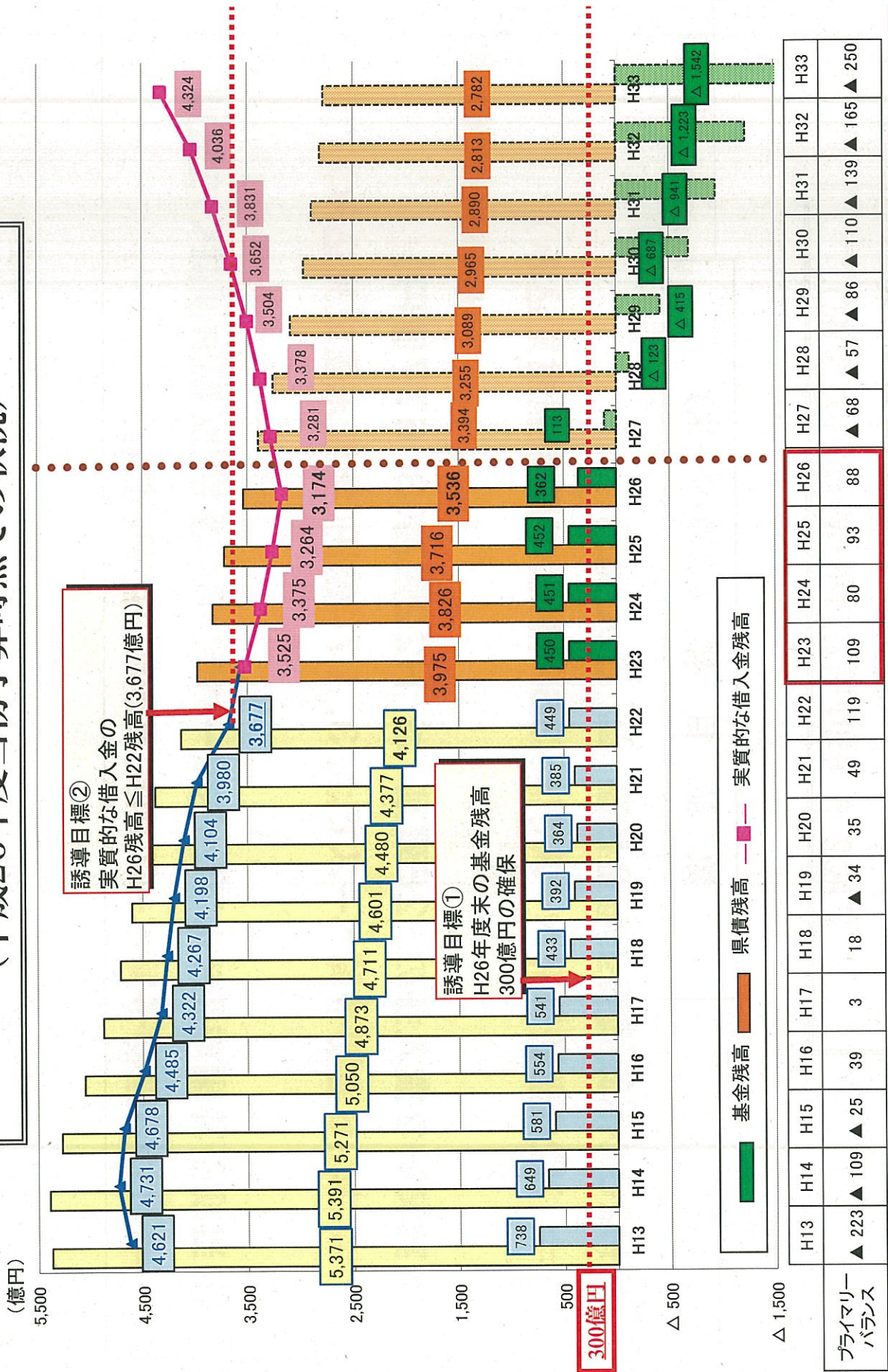
## 未来づくり財政誘導目標について

(平成26年度当初予算時点での状況)

### 数値目標 (決算ベース)

- ① H26の財政調整型基金残高  $\geq$  300億円  
⇒ H26当初予算ベースでは、362億円(年度末達成見込み)
- ② 実質的な借入金のH26残高  $\leq$  H22残高(3,677億円)  
⇒ H26当初予算ベースでは、3,174億円(年度末達成見込み)
- ③ 当初予算編成時でのプライマリーバランスの黒字化(臨財債除く)を堅持  
⇒ H26当初予算ベースでは、88億円黒字(達成)

# 基金残高・県債残高・実質的な借入金残高の推移 (平成26年度当初予算時点での状況)



誘導目標②  
実質的な借入金の  
H26残高≦H22残高(3,677億円)

誘導目標①  
H26年度末の基金残高  
300億円の確保

300億円

誘導目標③ 当初予算編成時でのプライマリーバランス黒字化

※プライマリーバランスは当初予算時点の数値。(知事改選期は肉付け後予算)

財政調整型基金残高・県債残高・実質的な借入金残高の推移について

		(単位:億円)														
区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
歳入	①	3,326	3,260	3,599	3,545	3,299	3,344	3,429	3,108	3,005	3,046	3,042	3,032	3,048	3,023	3,005
歳出	②	3,367	3,288	3,577	3,493	3,298	3,343	3,428	3,198	3,254	3,282	3,334	3,304	3,302	3,305	3,324
財源不足額	①-②	△ 41	△ 28	22	52	1	1	1	△ 90	△ 249	△ 236	△ 292	△ 272	△ 254	△ 282	△ 319
基金残高	③	392	364	385	449	450	451	452	362	(113)	(△ 123)	(△ 415)	(△ 687)	(△ 941)	(△ 1,223)	(△ 1,542)
県債残高	④	4,601	4,480	4,377	4,126	3,975	3,826	3,716	3,536	3,394	3,255	3,089	2,965	2,890	2,813	2,782
実質的な借入金残高	④-③	4,198	4,104	3,980	3,677	3,525	3,375	3,264	3,174	3,281	3,378	3,504	3,652	3,831	4,036	4,324
歳入	①	3,326	3,260	3,599	3,545	3,299	3,344	3,429	3,108	3,005	3,046	3,042	3,032	3,048	3,023	3,005
県税		555	550	476	452	446	445	455	459	459	459	459	459	459	459	459
地方交付税		1,440	1,451	1,474	1,607	1,539	1,520	1,489	1,427	1,322	1,313	1,302	1,292	1,308	1,283	1,265
国庫支出金		449	553	900	640	572	523	536	439	439	439	439	439	439	439	439
県債		348	305	288	226	227	233	257	187	187	187	187	187	187	187	187
その他		534	401	461	620	515	623	692	596	598	648	655	655	655	655	655
歳出	②	3,367	3,288	3,577	3,493	3,298	3,343	3,428	3,198	3,254	3,282	3,334	3,304	3,302	3,305	3,324
人件費		(91)	(72)	(68)	(70)	(69)	(78)	(79)	(81)	(110)	(119)	(125)	(117)	(141)	(149)	(159)
公債費		958	934	906	913	903	901	916	913	946	955	961	953	977	985	995
公債費		547	499	465	599	448	449	434	435	441	443	472	433	390	368	360
公共事業		654	620	650	578	498	482	594	475	475	475	475	475	475	475	475
その他		1,208	1,235	1,556	1,403	1,449	1,511	1,484	1,375	1,392	1,409	1,426	1,443	1,460	1,477	1,494

・平成27年度以降の基金残高欄の( )書数値は、財源不足額を全て基金の取崩しで対応した場合の基金残高

・県債残高には、臨時財政対策債分は含まない。

・歳出「人件費」の上段( )書数値は、退職手当分で内数。

○ 基本的な考え方

- H25 年2月補正後予算
- H26 当初予算
- H27～ 推計

○ H27以降の主な前提条件

【歳入】

県税	・ H26 当初予算額で推移
地方交付税	・ 特別交付税 + 普通交付税 + 臨時財政対策債 とし、臨時財政対策債償還費は除いて試算 ・ H27 以降、「歳出特別枠」が廃止された場合 を想定
国庫支出金	・ H26 当初予算額で推移
県債	・ H26 当初予算額で推移
その他	・ H26 当初予算額をベース ・ 地方消費税率引き上げによる実質的な収入 増を見込む(市町村交付金交付後) ・ 国基金の終了による繰入金金の減を考慮

【歳出】

人件費	・ 退職手当は将来支払額を試算 ・ 退職手当以外は H26 当初予算額で推移
公債費	・ 臨時財政対策債償還費は除いて試算
公共事業	・ H26 当初予算額で推移
その他	・ H26 当初予算額をベース ・ H27 以降、社会保障費(国民健康保険、高齢 者医療、介護保険等)の伸びを考慮し増額

